

—まさに今、突然大地震が発生したら。あなたはどつ動きますか？

周囲から物が落ちては来ないでしょうか。家族や大切な人たちの安否・周辺の状況は確認できるでしょうか。食料や雑貨の備蓄はあるでしょうか。

「大地震やゲリラ豪雨など、自然災害が「いつ起こるか」は、誰にもわかりません。分らないからこそ、**日頃から備えておくことが重要です**。今回の特集では、いざという時に落ち着いて行動できるように、身近な「備え」について考えます。

▲阪神・淡路大震災で被災した家の様子。突然の災害から命を守るためには事前の「備え」が欠かせません。



地域のために、災害に「備え」るあの人がいる。 北本市消防団

消防団ってなに？

私たちのまちで災害が起きた時、駆け付けてくれるのは消防署で働く消防士だけではありません！消防団は地域の人たちで構成され、本業を持ちながら、地域で発生する災害に対応するために活動しています。

中でも出動が多いのは火災。こうした災害が発生すると、仕事中でも現場に駆けつけ、地域のために消火活動や救助活動を行います。

何人くらいの人が活動しているの？

現在、127人の消防団員が市内6つの分団に所属し、それぞれの担当地域で火災予防の巡回活動を行っています。災害が発生した際にいち早く駆けつけ、活動するため、普段から訓練を行い、災害に「備え」ています。

消防団の活動については、市ホームページもあわせて御確認ください。

消防団員を募集しています！

消防団の活動に興味のある人はくらし安全課危機管理・消防防災担当 (0594-5523) までご連絡ください。



▲市ホームページ



11/19 (日) 見て・知って・体験して「備え」る 防災訓練 & 消防団特別点検

防災訓練 ▶ 9:30 ~ 12:30

毎年実施している防災訓練。自分で出来る防災対策を見て・知って・体験できる”楽しくてためになる”一日です。今年は新たな取組みとして、消防団の勇姿が見られる消防団特別点検を同日開催！この機会に自宅の、地域の「備え」について一緒に考えてみませんか。

主な内容

- 子ども放水体験
- 炊き出し訓練
- 防災グッズの展示
- イツモ防災体験
- 救急救命・AED訓練
- 自衛隊・警察・消防車両の見学

スタンプラリー実施！
体験・訓練でスタンプを集めて、炊き出し訓練エリアでカレーと引き換え！

最新情報・駐車場情報は市ホームページをチェック！



消防団特別点検 ▶ 8:30 ~ 10:30

※ 8:25 にサイレン吹鳴を放送します

日頃の「備え」の成果を見せる

消防団では、災害に迅速に対応する準備が出来ているかを毎年点検します。「自分たちのまちは自分たちで守る」という思いを胸に、限られた時間で訓練を重ね、培ってきた規律正しい操法・部隊行動等の様子をぜひご覧ください。



①タンスに挟まれたぬいぐるみを助け出す「タンスレスキュー」/②自衛隊・武蔵丘短期大学が共同で行う炊き出しのカレーは、スタンプラリーで引き換え可能。/③子ども放水体験/④市内で購入できる防災グッズを多数紹介。/⑤車両の見学・記念撮影もできる。

アナタは済んでる？ 3つの「備え」ポイント

① 7日分の食料・雑貨品を備蓄する

災害発生！
1~3日目
冷蔵庫・冷凍庫にあるものを食べる
普段から冷蔵庫・冷凍庫に食材を多めに買い置きしておく。
停電時は、クーラーボックスに保冷剤と食べ物を入れて保存する。



食べ慣れているものを、いつもより多めに買っておきましょう。
いざ非常食を食べようとしたら期限切れ…。なんてことにならないためには、備蓄を「回転」させる事が重要です。

食糧だけでなく、災害用トイレやLEDランタン、電池・バッテリー・カセットコンロ等の雑貨品も備蓄を。

② 家具や棚の中身を固定する

「ローリングストック法」で備蓄した非常食を食べる

4~7日目	缶詰・レトルト食品 食べ慣れた好みのものを揃えましょう。	乾麺 ゆで時間の短いものがおすすめです。	フリーズドライ食品 少量のお湯で温かい食品に。野菜もとれます。	乾物 不足しがちなミネラル・食物繊維を補給。
-------	---------------------------------	-------------------------	------------------------------------	---------------------------

ローリングストック法
備蓄食料・水を古いものから定期的に食べ、その分を買い足していく備蓄方法。賞味期限が1年程度の物でも備蓄にできるため、選択肢が大きく広がり、食べ慣れた食品を「非常食」にすることができます。

③ 情報収集の手段を確保する

地震の時、家具は凶器へ変わります。棚、タンスはもちろん、食器や本等の中身や花瓶なども非常に危険です。家具本体への対策とあわせて、中身が飛び出さない工夫や、物の置き方を見直してみましょう。

- 収納にひと工夫
上には軽いもの、下には重いものを収納。
- 本棚・食器棚
落下抑制テープやすべり止めシートで対策を。
- 開き戸・引き出し
飛び出し防止器具を取り付ける。

詳しい情報はこちらから ▶ 埼玉県イツモ防災マニュアル

Yahoo! 防災速報	NHK NEWS	北本メール

情報収集の手段を用意しておく、災害時も慌てず情報を確認できます。複数の手段を持つのがおすすめです。あわせて、最新の防災情報を普段から確認しておきましょう。